管機連Daily News

2026年11月18日（水）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆フレックスタイム制、通常勤務との混在容認へ　厚労省検討

・厚生労働省はフレックスタイム制で働く人について、日によっては始業・終業時刻が決まった通常勤務でも働けるよう検討する。テレワークと出社を組み合わせるなど多様な働き方に対応。厚労省は「始業・終業時刻を労働者が決定する日と使用者が決定する日が混在することを認める仕組み」を検討課題として提起した。

◆豊田通商、集合知AIを開発「VIVANTのAIハヤトの機能を想定」

・豊田通商は社内に蓄積した集合知を使える人工知能（AI）を開発したと発表。豊通の歴史や意思決定、リスク感覚を学習したチャットボットで全従業員が使える。AIには企業理念やビジョンのほか、統合リポート約20年分のデータや投融資委員会の意思決定情報を学習させた。歴史や価値観をベースに壁打ち相手になり新しい発想を回答する用途を想定。

◆信金の預金金利、8割が銀行下回る　格差広がり流出の歯止め重要に

・融資の原資である預金集めで、信用金庫の苦境が目立っている。銀行は普通預金金利を0.5%に引き上げたが、8割の信金が追随できていない。中小・零細企業を支える信金の苦境は地域経済にも重荷となる。メガバンクを含む大手銀や地銀など99行と全国254信金の普通預金の金利を、日本経済新聞が集計した。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆ノーリツ、3Qは増収増益　国内営業益が黒字転換

・ノーリツが発表した2026年12月期第3四半期（1～9月）連結決算は、売上高が1474億円（前年同期比3.4%増）、営業利益が10億円（同24.1%増）、経常利益が14億円（同18.1%減）。純利益は投資有価証券売却益の66億円を計上したことで58億円（同771.7%増）。国内事業は、売上高1021億円（同7.9%増）、営業利益が6億円と黒字に転じた。

◆生成AI「導入」から「活用」へ　全面利用可68%に

・生成AI（人工知能）の活用が導入段階から、事業や業務内容に合わせていかに効果的に使うかに焦点が移りつつある。正社員の生成AI利用方針について「全面的に利用可能」と答えた企業は前年から10.6ポイント増えて68.8%まで高まった。「業務での使用を禁止」はわずか0.5%だった。社員同士がノウハウを共有し、効果的な利用を進める。

◆熊本地震の経済被害1兆円、土木学会が推計　住宅などインフラ関連

・土木学会は7月の熊本地震による住宅の損壊や道路などのインフラに関連して生じた経済被害が、計約1兆1千億円に上るとの推計を公表。南海トラフ巨大地震や首都直下地震を念頭に「橋や建物、水道などの強靱（きょうじん）性を高めておくことの重要性が数値で示された。政府は対策を徹底的に加速させる必要がある」とした。

≪　注目商品　≫

■リンナイ、ハイエンドキッチン機器に新モデル



・ハイエンドキッチンシリーズに、3口IHクッキングヒーター「G:103」とガスドロップインコンロ「G:102」を追加。「G:103」は、光の反射を抑えたマットブラックのガラストップを採用。未使用時は表示が消えるブラックアウト仕様で天面が一枚の黒い面となる。

■コロナ、家庭用ヒートポンプ給湯機



・家庭用ヒートポンプ給湯機に、省エネ性能に優れたフルオートタイプ「アドバンス」の寒冷地向け2機種と給湯圧力を高めた「集合住宅専用」の新モデル5機種を拡充。寒冷地年間給湯保温効率3.1の優れた省エネ性能で給湯圧力300kPaで外気温マイナス25℃でも高温の沸き上げが可能。

■三協立山・三協アルミ社、車両盗難対策と意匠性を両立



・フレームとバーだけの最小限の構成で、車両盗難対策とノイズレスなデザインを両立するスライディングゲート。様々なフラットカーポートと調和し、カラーはサンシルバー、アーバングレー、ブラックを用意。昇降バーは軽い力で操作でき、防犯性の高いディンプル錠を採用。